

作成日 2025年 7月 31日
(最終更新日20 年 月 日)

受付番号： 第 I2025-170 番

課題名：当院救命救急センターにて入院加療を行った壊死性軟部組織感染症の疫学的調査および重症化予測因子の検討

1. 研究の対象

2015年1月1日から2025年7月31日までに、当院救命救急センターに壊死性軟部組織感染症の診断で入院加療された方

2. 研究期間

20 年 月 日（研究実施許可日）～2027年9月30日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2025年9月1日

提供開始予定日： 該当なし

4. 研究目的

壊死性軟部組織感染症は頻度としては稀ですが、致死率の高い重篤な感染症です。その一方で早期診断が難しいことが知られており、その特徴を把握することが重要となります。そこで今回、当院の救命救急センターに壊死性軟部組織感染症の診断で入院となった患者さんの臨床的な特徴について検討します。

5. 研究方法

研究対象者の選定基準は、2015年1月1日から2025年7月31日までに、当院救命救急センターに壊死性軟部組織感染症の診断で入院加療された患者さんを対象としており、年齢・性別は問いません。

以上の選定基準を満たした方について、診療録から病院前情報・検査結果・治療・転帰などの情報を採取し、匿名化したうえで、集計・解析を行います。

既存の情報の収集を行うだけであり、患者さんに新規に行っていただくことはございません。また、対象となった患者さんの費用負担や謝礼などはございません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、血液検査結果、画像検査結果、治療内容、転帰 等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学病院 救命救急センター 特任助教 河原 直毅
連絡先：03-3813-6111（代表）（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

当院の研究責任者：東京科学大学病院 救命救急センター 特任助教 河原 直毅

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）